

紫藤通信



新緑が芽吹き始める四月八日、第七十五回入学式が厳かに挙行された。

昨年度同様新入生が入場した状態で開会し、新入生の瞳には若干の不安と緊張、高校生活への期待が入り混じる様子が見て取れた。開幕と開会宣言の後、さっそく呼名が行われ、返事をする生徒たちの声には力とやる気が満ち溢れているように感じられた。

校長先生から「三つの心を大切にして欲しい。自ら学ぶ心、感動する心、けじめある心、この三つを心にとめて高校生活を充実させて欲しい」とのお言葉を頂戴した。

岡理事長からは、創立者である山村ふみよ先生の創立時の想いについてのお話があり、「自分の立てた目標に忠実になれ、未来は自分の選択の結果である。簡単にあきらめたりせず、自分の未来を切り開くためにも努力をして欲しい」とのお言葉を頂戴した。

発行所
山村国際高等学校
坂戸市千代田1-2-23
☎ 049-281-0221

印刷所
有限会社 須賀印刷

<http://www.yamamura-kokusai.ed.jp>



後援会会長小久保様、同窓会会長田中様からもご祝辞を賜り、新入生代表福島さんからは高校生活への決意が感じられる挨拶が行われた。その後、吹奏楽部とコーラス部による校歌紹介があった。退場する新入生たちの姿は、希望に満ち溢れていた。初心を忘れずに充実した高校生活を送って欲しい。

教えを受けつつ前に歩もう

校長 中山達朗

皆さんは、弘法大師というお坊さんを知っているかと思えます。お会いしたことはありませんが、非常に優れたお坊さんであったと聞いております。その弘法大師でさえ、若き青年時代は、これから自分がどう進むべきか、自分で方向づけができなかったことが多かったようです。そうした時には、お師匠さんに、指導いただき自分自身を見つめ直し、その後の道を歩んでいったということです。

このことを皆さん自身に置き換えてみますと、青年期においては、将来自分が何に適しているのか、何をやるべきなのか、なかなか見えてこない現実が多くあります。こうした時には、その方向性について、親をはじめ先人の方からのアドバイスを受ける、先生方に指導・教授してもらうなど、皆さんを応援する多くの方の支援をいただき、自分の歩むべき道を選択していくことが大切なのではないかと思います。

そして、いずれの教えも真摯に受け止め、自分自身の夢の実現に向け、一歩一歩歩んでいってください。

体育祭

令和七年五月二十九日に第七十回体育祭を実施することができました。当日は天候にも恵まれ、最初の種目である一〇〇m走から盛り上がりを見せていました。三年生のダンスではクラスで一丸となり長い時間をかけて作り上げた作品を披露し、会場のみんなを感動させました。綱引きやリレーなど団對抗の種目での盛り上がりが印象に残っています。

最初から最後まで学年の垣根を越えて応援している姿がみられる素晴らしい体育祭でした。

体育祭開催にあたり、前日までの準備、当日の進行等体育委員を中心とする多く生徒、先生方に感謝いたします。ご協力いただきありがとうございます。



👑 体育祭結果 👑	
1	赤団 436点
2	紫団 432点
3	桃団 398点
4	黄団 392点

オリエンテーション

令和七年四月八日入学式において、女子一三三名、男子二三八名の計二七一名を新入生として本校に迎えることができました。新入生たちにとって、または教職員にとりましても緊張感のうちに無事終了できたことに胸を撫でおろす入学式でもありました。

新入生たちは、九日から十五日までの期間、オリエンテーションへの参加となりました。このオリエンテーションは本校でこれから始まる三年間の学校生活についての規律や社会性について学んでもらう重要な期間となっております。そのため、新入生にとって、この一週間は精神的、肉体的にもかなり辛かったのではないかと想像できます。しかしながら、このオリエンテーションにおいて高校とは、

それまでの義務教育とは明らかに違った場であることを新入生各々に理解してもらい、以後三年間に渡る高校生活の基礎として規律や社会性を、各々の中に定着させてもらいたいと考えています。また、クラスに慣れ、学校に慣れてもらうのにも重要な期間であろうと思われま。

近年学校生活では、友人間でのコミュニケーションが上手くとれなかったり、学校やクラスに馴染めないといった生徒達に多く出会います。おそらく今年度の新入生の中にもそういった理由で、小学校や中学校に上手く馴染めなかった生徒もいるので



はないかと思えますし、現にそういった生徒も多く見かけます。高校とは、そういったさまざまな事情を抱えた生徒たちが、地域を超えて集まってくる場であり、自分以外の、しかも自分とは違った同年代の仲間と出会う場でもあります。そのスタートとして、このオリエンテーションは生徒それぞれの新たなスタートを切るのに有効に働いてくれるよう、また三年間をこの学校で過ごして行くのだという気持ちを是非持つてもらえるよう、一学年の担任をはじめとする教職員一同、心を込めて、厳しく生徒たちに接する場でもあったと思います。

これからの三年間、よりよい未来のために、われわれもこの新入生たちと一緒に成長していきたいと考えています。

新任紹介

数学科 阿部友哉

本年度から着任いたしました、阿部友哉と申します。担当教科は数学、担当部活は男子ソフトテニス部です。

生徒の皆さんと様々な行事や学校生活を過ごしていくなかで、一緒に学びながら成長していくとともに一つ一つの有意義な時間を歩んでまいります。

数学の授業では、問題解決に向かう中で出てくる疑問や達成感を大切に授業や生徒が主体の授業を指すとともに数学検定の受験や理系進学にも興味を持たせることを目標に授業を行っていきます。また、将来は数学と結婚することが目的：

いやっ!!使命だと思っております。皆様の熱いご声援をお待ちしております。

また、ソフトテニス部では技術向上だけでなく、「応援される選手」すなわち人間性の育成にも重点を置きながら、取り組んでまいります。

目標は全国制覇並びに海賊王改めソフトテニス王。ソフトテニス王に俺はなるう!!

至らぬ点でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆さんの学校生活がより豊かなものになるように全力でサポートしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

国語科 金井世那

本年度からお世話になります、金井世那と申します。

教科は国語部活動は女子バスケットボール部を担当しています。

授業では、教師主体ではなく生徒主体の授業を心掛け、少しでも生徒に国語の魅力を伝えられるよう、日々精進して参ります。

生徒の皆さんには、高校三年間という貴重な時間を様々な経験をし、本校で学んだこと、経験したことを今後の強みにしてほしいです。

また、私自身本校で学んだ卒業生です。私が学生の頃よりもさらに良い雰囲気になっていると身を感づいて感じています。生徒であり、

後輩である皆さんが高校生生活を有意義に過ごせるようお手伝いしていきたいと考えています。

至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけしてしまいうちもあるかと思いますが、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

教育実習を振り返って

帝京大学 喜多村孝夫

この度はお忙しい中、教育実習を受け入れていただき誠にありがとうございます。二週間毎日楽しく充実した日々を送ることができました。ご指導いただいた先生方や生徒の皆さんのおかげで多くのことを学ぶことができました。

この二週間を通して教壇に立ち大勢の前で話すことや授業するということや貴重な経験をさせていだきました。教育実習前よりも教師になりたいという思いが強くなりました。教育実習での経験を活かし、これから教師になるため、勉学に励んでいきたいです。ご指導いただいた

先生方、温かく迎えてくれた生徒の皆さん、二週間本当にありがとうございました。

東京未来大学 堅木雅斗

この度はお忙しい中、教育実習を受け入れていただきありがとうございます。この二週間はとて濃密で、心に残る大切な経験になりました。指導教諭である富澤先生をはじめ、佐藤先生、社会科の先生、多くの先生方からご指導をいただきました。

教育実習はすべてが楽しいことだけではなく、つらいと感じることも正直ありました。しかし、生徒のことを想うと頑張れる、乗り越えることができると思えました。

関わっていただいた先生方や生徒の皆さんの支えを受け、人の優しさや温かみ、素直さの大切さを改めて学びました。教育実習で学んだ多くの経験を、将来は教員として生徒に伝えられるよう日々勉学に励んでいきます。三週間という短い期間ではありましたが、本当にお

世話になりました。

大東文化大学 手塚心温

この度はご多忙の中、教育実習を受け入れていただき、誠にありがとうございます。特に指導教諭である佐藤先生、鍋倉先生をはじめ、国語科の先生方、その他にも多くの先生方からご指導いただきました。先生方の丁寧なご指導や、日々のさまざまな場面でいただいた励ましの言葉に支えられ、充実した実習期間を過ごすことができました。授業づくりや生徒との関わりを通して、教育の難しさややりがいの両方を実感することができ、非常に学びの多い時間となりました。

今回の教育実習を通して得た学びや気づきを、今後の進路や学びに活かし、より良い教員を目指してこれからも勉学に励みたいと思っております。

三週間と短い期間ではございましたが、本当にありがとうございました。

日本大学 柴崎もも

教育実習を通して、改めて教員になりたいという思いが強くなりました。高校

時代に感じていた先生方の思いを、教員という立場から見ることで、生徒のために行動する素敵な職業だと実感しました。生徒たちの学習や行事に真剣に取り組み姿や、休み時間の楽しげな姿は学校という場ではない、かけがえのないものだと思えました。授業準備や授業は大変でしたが、生徒が理解し問題を解くことができたときの嬉しさはとても大きかったです。先生方や生徒の皆さんのおかげでも充実した実習になりました。実習を通して山村国際の良さにも改めて気づき、いずれ教員として戻ってきたいという思いが強まりました。本当にありがとうございました。

立正大学 内田 元

三週間大変お世話になりました。一、三年生の日本史の授業を担当させていただきました。山村国際の生徒さんはみんなが素直で、授業中たくさん反応してくれるのですごくやりがいがありました。休み時間もたくさん話しかけてくれたり、体育祭を通してみなさんと

の距離を縮めることができましたのも嬉しかったです。また、在学中お世話になった先生方とお話することもでき、この三週間を通じて教師になりたいという思いがより強くなりました。高校生として素晴らしい時間を過ごせたこの学校で将来働くのが私の夢です。これからもその夢に向かい、立派な先生になれるよう努力します。三二七、二二一、三二一、三二二をはじめ、関わってくれたすべての生徒のみなさんに感謝です。ありがとうございました!!

女子栄養大学 荒木 唯

家庭科の教育実習をさせていただきました、女子栄養大学の荒木唯です。

まずは三週間という短い間でしたがありがとうございました。

家庭科という授業は受験科目ではなく、必要ないと思われていますが、私のつたない授業を一生懸命聞いてくださった姿はとても印象に残っています。

もつとたくさんさんの時間をかけて生徒の皆さんと関わることができればよかったです。

と少し残念な気持ちには残りましたが、HRを担当させていただきました。いただいたクラスの生徒の皆さんには誕生日までお祝いしてもらい、とてもうれしかったです。

私の指導に当たってくくださった百合野先生をはじめ、たくさんさんの先生方からいただいた助言を忘れずに今後も精進していきたいと思えます。

日本女子体育大学 西村 芽唯

三週間の教育実習を通して、教師という仕事の責任の重さとやりがいの大きさを実感しました。授業準備や実際の指導は想像以上に大変で、うまくいかないことも多くありましたが、生徒たちと接する中で、教育の面白さ、そして「伝えること」の難しさを強く感じました。

私は保健体育を担当しましたが、特に実技の授業では、技能の個人差やモチベーションの差にどのように対応すべきか悩むこともありました。しかし、少しずつ生徒たちとの関係が築け、前向きに授業に参加する姿を見たときには、教師としてのやりがいや達成感

を感じました。

まだまだ知識も指導力も足りませんが、三週間の教育実習で得た学びを土台に、今後さらに努力を重ねていきたいと思えます。

駿河台大学 加藤 遼雅

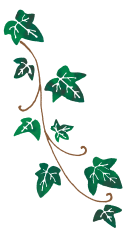
私が保健体育の教育実習を終えて一番感じたことは教師という職業のやりがいです。教育実習では先生たちが普段行っている仕事で少しだけ実習生が行う形でしたが、その少しだけでも

慣れないことの連続でも大変なことが多くありました。保健体育では、保健と体育二つの授業を担当することになっていて授業を作るにあたって教材研究が大変でした。保健では過去や現代の話を引き合わせたり取り組みを調べるなどの苦労があり、体育では運動が苦手な生徒のためのコツなどの方法を考えることが大変でした。このことから、生徒の見えないところで先生たちの頑張りが見えたのだとても良い経験になりました。また、今回無事教育実習を終えたのも先生方はもちろんのこと、私たちの授業を受けてくれた生徒達

のおかげだと考えます。ありがとうございました。

大東文化大学 石川 佳樹

私は正直、最初は上手くできるかななどの不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、校長先生をはじめとした先生方や生徒たちが温かく迎えてくださり、楽しく有意義な二週間を過ごすことが出来ました。特に、担当して頂いた長池先生やその他先生方、一年一組のみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。本当は生徒のみんなに伝えたかったのですが、「感謝の気持ちを大切に」そして、私たちはコロナウイルスの影響で体育祭などの行事ができず、当たり前のように学校に行くことができなかったため、「日々の学校生活を大切に」、最後に「自分のことを大切にしてくれる人を大切に」という三つのことを忘れず、一日一日を大切に過ごしていつてくださーい！二週間という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。





生徒会通信

生徒総会

今年度の生徒総会は体育館から放送への急な変更となりましたが、生徒の皆さんが臨機応変に対応してくださったおかげで、無事に終わることができました。ご協力ありがとうございました。生徒会役員・議長団も不安を感じながらの準備でしたが、協力し合い、大きなミスもなく無事に運営することができました。

紫藤祭



今回の紫藤祭では、2年生も抽選で食品を扱えるようになり、一般公開の時間も1時間延長されました。楽しみの幅が広がった今年の紫藤祭を、生徒会も一丸となって盛り上げていきます。みんなで楽しい紫藤祭をつくりましょう！

PICK UP ★★ 部活動実績 ★★ PICK UP

男子ソフトテニス部

R7年度 関東大会 団体戦 第5位
(山梨県甲府市小瀬スポーツ公園テニスコート)

R7年度 全国大会予選会個人戦の部
(熊谷さくら運動公園)
町田 優月希(2-1)・石井 琉 (3-4) 優勝
松村 裕 太(3-2)・片山 孝輔(3-9) ベスト8
中本 葉 音(2-2)・須田 将太(2-3) ベスト8
上記3ペア全国大会(インターハイ)出場

陸上競技部

令和7年度関東高等学校陸上競技大会
北関東 女子5000mW
寺嶋 日菜(3)第12位 26分14秒59

6月13日(金)栃木県カンセキスタジアムで行われた関東大会に出場いたしました。関東大会で第5位(インターハイ出場)を目標としていたので、結果としては悔しいものでした。しかし、多くの温かい応援が力となり、最後まで諦めずに挑戦することができました。この悔しさを力にし、更なる競技力向上を目指します。ありがとうございました。

○令和7年度 関東高等学校バスケットボール大会
埼玉県予選会
1回戦:山村国際 76 - 62 松山高校
2回戦:山村国際 92 - 58 豊岡高校
3回戦:昌平高校 91 - 57 山村国際
4回戦:山村国際 77 - 57 慶應義塾志木高校

男子バスケットボール部

— 5位決定戦 —
山村国際 81 - 67 越谷西高校 関東大会出場権獲得
○令和7年度 関東高等学校バスケットボール大会
1回戦:土浦日本大学高校 104 - 53 山村国際



Kaisa
Martiainen

皆さん、こんにちは。もうすぐ帰国することになりました。去年の8月に日本に来ました。山村国際高校に通うことは、最初は不安でいっぱいでしたが、皆さんがあたたかく話しかけてくれて、友だちになってくれて、とてもうれしかったです。

学校行事では、文化祭でクラスTシャツを着てカジノをしたことが楽しかったです。また、遠足でディズニーシーや上野動物園に行ったことも楽しい思い出になりました。3月には語学研修で1泊2日の鎌倉・江の島旅行に参加し、日本の文化にたくさん触れることができました。

学校で困ったときには、皆さんが助けてくれて、本当に助かりました。皆さんのやさしさに、心から感謝しています。先生方にもたくさんのことを教えていただき、本当にありがとうございました。たくさんの日本語を学ぶことができました。日本での生活は一生忘れません。本当にありがとうございました。

事務室だより

事務長 師岡 昇

皆様には、日ごろより事務事業に対しまして多大なご理解とご協力をいただいておりますこと心から感謝申し上げます。

現在事務室では、皆様に今まで提出いただきました「国の就学支援金」「県の父母負担軽減事業補助金」「奨学のための給付金」を申請し、国と埼玉県の審査待ちの状況です。

本校は生徒が安心して勉学・部活動に励めるよう、就学支援金及び父母負担軽減事業補助金・奨学のための給付金申請について、私学の中でも熱心に取り組んでいる学校です。家計急変等、ご相談したいことがありましたら、ご連絡ください。

令和七年度の施設事業は、夏季休業中に全館のLED照明工事を計画しています。ご不便をお掛けする場合もあるかと存じますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

山村国際高校での生活を魅力ある場とするために、部活動や学校行事も積極的に行われています。すべての生徒が安心・安全に勉学や部活動等に打ち込める環境作りを順次整えて参ります。

